



平成 25 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 省 電 舎
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 中 村 俊
(コード番号 1711 東証マザーズ)
問 合 せ 責 任 者 取 締 役 管 理 本 部 長 嘉 納 毅
(問合せ先 TEL 03-3423-0004)

当社子会社における工事請負契約締結に関するお知らせ

当社の連結子会社であるドライ・イー株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 中村健治、以下「ドライ・イー」という)は、エナリス DE バイオガスプラント株式会社(本社:東京都足立区、代表取締役 久保好孝、以下「エナリス DEBP」という)と本年 10 月 4 日「株式会社日本キャンパック 群馬工場におけるバイオガス発電事業について」(別紙ご参照ください)としてPR情報にてお知らせし、同時に当社ホームページ(<http://www.shodensya.com/>)でもお知らせ致しました事業に関するプラント設計・建設に係る工事請負契約を締結致しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 契約内容

内 容 : バイオガスプラント建設工事
工 事 期 間 : 平成 25 年 10 月 24 日～平成 26 年 9 月 30 日
請 負 金 額 : ¥700,000,000 (消費税等含まず)

2. 契約締結の背景

当社グループにおける再生可能エネルギー事業の中核とすべく事業推進しておりましたバイオガス発電事業において、大手飲料メーカーの受託製造会社である株式会社日本キャンパック 群馬工場より排出される食品残渣をメタン発酵させ、抽出したメタンガスを活用したバイオガス発電事業として企画し、独立系エネルギー事業者である株式会社エナリス(本社:東京都足立区、代表取締役 池田 元英、以下「エナリス」という)と協働で推進してまいりました。当該バイオガス発電事業は再生可能エネルギー特別措置法の設備認定事業であり、プラントで発電された電力はエナリスが受給管理する群馬コミュニティー電力株式会社を通じて、地元の施設へ電力供給し地域の資源循環を構築する事業であります。

本日のドライ・イーとエナリス DEBP とのバイオガスプラント建設工事に関する工事請負契約締結により、バイオガスプラントの建設に着手してまいります。

3. 契約締結の効果及び今後の見通し

本契約の締結によりドライ・イーにおいてバイオガスプラントの建設工事を着工いたします。当該売上高は平成 25 年 5 月 15 日発表の業績予想に織り込んでおりますので、平成 26 年 3 月期の業績予想に与える影響はありません。

以 上



平成 25 年 10 月 4 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 省 電 舎
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 中 村 俊
(コード番号 1711 東証マザーズ)
問 合 せ 責 任 者 取 締 役 管 理 本 部 長 嘉 納 毅
(問 合 せ 先 TEL 03-3423-0004)

株式会社日本キャンパック 群馬工場におけるバイオガス発電事業について

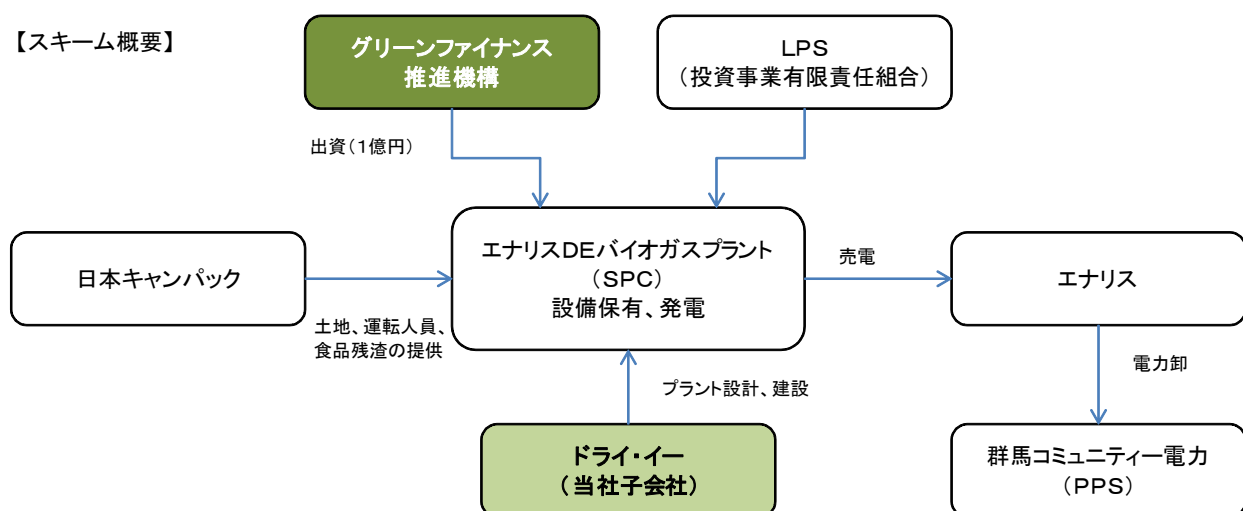
当社の連結子会社であるドライ・イー株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 中村健治、以下「ドライ・イー」という)は、従前より推進しておりましたバイオガスプラント事業において、独立系エネルギー事業者である株式会社エナリス(本社:東京都足立区、代表取締役 池田 元英、以下「エナリス」という)と協働で、大手飲料メーカーの受託製造会社である株式会社日本キャンパック 群馬工場における食品残渣を活用したバイオガス発電事業(以下「本事業」という)を推進して参りました。

本日、一般社団法人グリーンファイナンス推進機構(代表理事:末吉竹二郎)からエナリスのグループ会社で本事業の主体となるエナリス DE バイオガスプラント株式会社(本社:東京都足立区、代表取締役 久保好孝、以下「エナリス DE バイオガスプラント」)が 1 億円の出資を受けることが決定し、本事業が本格的に始動することになりました。

本事業は食品工場より排出される食品残渣をメタン発酵させ、抽出したメタンガスを活用したバイオガス発電事業であり、再生可能エネルギー特別措置法の設備認定事業であります。

ドライ・イーは本事業において設計・施工を請け負うこととなり、今後、エナリス DE バイオガスプラントと工事請負契約を速やかに締結し、着工する予定です。

【スキーム概要】



また、本日、一般社団法人グリーンファイナンス推進機構より本事業に係るプレスリリースが公表されておりますので、以下の URL をご参照下さい。

<http://greenfinance.jp/index.html>

以 上